



カケハシ・プロジェクト（米国）の記録 「アメリカで沖縄の未来を考える」（TOFU）プログラム

1. プログラム概要

【目的】「アメリカで沖縄の未来を考える」（TOFU: Think of Okinawa's Future in the U.S.）プログラムは、沖縄の将来を担う高校生・大学生及び専門学校生を米国に派遣し、関係者との意見交換や各種視察等を通じ、英語力向上を図るとともに、英語を用いて様々な分野について学ぶ教育機会を提供することを目的としています。また、参加者によりグローバルな視点で日米同盟を見つめ、その意義を米国における様々な実体験に根差した形で再認識してもらうことで、国際社会で活躍する沖縄の人材育成を行うと同時に、日米同盟の深化を第一の柱とする日本の外交政策の基盤を強化することを主目的としています。

【参加者】日本の外交姿勢や日本の強み・魅力等を積極的に発信できる沖縄の高校生、大学生及び専門学校生 計 22 名

【訪問地】東京都、コロンビア特別区（ワシントン D.C.）、ニューヨーク州ニューヨーク市

2. 日程

■ プレプログラム（オンライン事前学習）:

2 月 23 日（金曜日） 渡航前オリエンテーション

■ 派遣プログラム:

3 月 19 日（火曜日） オリエンテーション、表敬訪問、意見交換、表敬訪問、意見交換、表敬訪問

【オリエンテーション】

【表敬訪問】在日米国大使館 公使 ジョン・ナイリン 氏

在日米軍 副司令官 ジョージ・B・ラウル 氏

外務省 北米局参事官 宮本 新吾 氏

【意見交換】外務省 若手職員

【表敬訪問】外務大臣政務官 穂坂 泰 氏

【意見交換】外務省 北米局参事官 宮本 新吾 氏

【表敬訪問】内閣官房長官 林 芳正 氏

3 月 20 日（水曜日） 出国、入国、視察、意見交換

羽田空港から出国、ワシントン・ダレス国際空港より米国入国

【視察】リンカーン記念堂（ナショナル・モール）

【意見交換】在アメリカ合衆国日本国大使館 参事官 寺尾 長 氏及び在アメリカ合衆国日本国大使館若手職員との意見交換

3 月 21 日（木曜日） 表敬訪問、視察、学校交流、意見交換、ワークショップ、表敬訪問

【表敬訪問】アメリカ合衆国国防総省 筆頭部長代行 ジェシカ・コックス 氏

【視察】アメリカ合衆国国防総省見学ツアー

【学校交流】Columbia Heights Educational Campus (CHEC) Bell Multicultural High School

【意見交換】在アメリカ合衆国日本国大使館 参事官 仁保 智紀 氏

【ワークショップ】チームビルディング(ローラシアン協会)

【表敬訪問】駐アメリカ合衆国日本国特命全権大使 山田 重夫 氏

3月22日(金曜日) 表敬訪問、視察、表敬訪問、ワークショップ、表敬訪問

【表敬訪問】上院議員 ジル・トクダ 氏

【表敬訪問】メイジー・ヒロノ上院議員事務所補佐官他

【視察】アメリカ合衆国議会議事堂

【表敬訪問】アメリカ合衆国国務省 国務次官補代理(東アジア・太平洋局) カミラ・ドーソン 氏

【ワークショップ】日米関係に係るロールプレイングゲーム(アメリカ合衆国国務省 日本デスク)

【表敬訪問】戦略国際問題研究所(CSIS) 上級フェロー ニコラス・セーチェイニー 氏

3月23日(土曜日) 学校訪問、移動

【学校訪問】ジョージタウン大学

コロンビア特別区(ワシントンD.C.)からニューヨークへ移動

3月24日(日曜日) 視察、ワークショップ

【視察】自由の女神像(スタテンアイランドフェリー乗船)

【視察】国立9.11メモリアル

【視察】イントレピッド海上航空宇宙博物館

【視察】タイムズスクエア

【ワークショップ】帰国後のアクション・プラン準備(訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画(アクション・プラン)の作成)

3月25日(月曜日) 表敬訪問、視察

【表敬訪問】在ニューヨーク日本国総領事館 総領事 森 美樹夫 氏

ニューヨーク日系人会 会長 佐藤 貢司 氏

米日カウンシル 副会長 フレッド・カタヤマ 氏

【表敬訪問】国際連合事務次長 兼 軍縮担当上級代表 中満 泉 氏

【表敬訪問】特命全権大使・国際連合日本政府常駐代表 山崎 和之 氏

【視察】国際連合本部見学ツアー

3月26日(火曜日) 出国

ジョン・F・ケネディ国際空港から出国

3月27日(水曜日) 入国

羽田空港より入国

3. プログラム記録写真



3月19日【表敬訪問】在日米国大使館 公使 ジョン・ナイリン 氏、在日米軍 副司令官 ジョージ・B・ラウル 氏、外務省 北米局参事官 宮本新吾 氏



3月19日【意見交換】外務省 若手職員との意見交換



3月19日【表敬訪問】外務大臣 政務官 穂坂 泰氏
【意見交換】外務省 北米局参事官 宮本 新吾氏



3月19日【表敬訪問】内閣官房長官 林 芳正 氏



3月20日【視察】リンカーン記念堂（ナショナル・モール）



3月20日【意見交換】在アメリカ合衆国日本国大使館 参事官 寺尾 長 氏及び在アメリカ合衆国日本国大使館若手職員



3月21日【表敬訪問】アメリカ合衆国国防総省
筆頭次官補 代行 ジェシカ・コックス 氏



3月21日【学校交流】Columbia Heights Educational Campus (CHEC) Bell Multicultural High School



3月21日【意見交換】在アメリカ合衆国日本国
大使館参事官 仁保 智紀 氏



3月21日【表敬訪問】在アメリカ合衆国日本国
大使特命全権大使 山田 重夫 氏



3月22日【表敬訪問】上院議員 ジル・トクダ
氏



3月22日【ワークショップ】日米関係に係るロ
ールプレイングゲーム（アメリカ合衆国国務省
日本デスク）



3月22日【表敬訪問】戦略国際問題研究所
（CSIS）上級フェロー ニコラス・セーチェイ
ニー氏



3月23日【学校訪問】ジョージタウン大学



3月24日【視察】自由の女神像（スタテンアイランドフェリー乗船）



3月24日【視察】国立 9.11 メモリアル



3月24日【視察】イントレピッド海上航空宇宙博物館



3月24日【視察】タイムズスクエア



3月25日【表敬訪問】在ニューヨーク日本国総領事館 総領事 森 美樹夫 氏、ニューヨーク日系人会 会長 佐藤 貢司 氏、米日カウンシル 副会長 フレッド・カタヤマ 氏



3月25日【表敬訪問】国際連合事務次長兼軍縮担当上級代表 中満 泉 氏



3月25日【表敬訪問】特命全権大使 国際連合日本政府常駐代表 山崎 和之 氏



3月25日【視察】国際連合本部見学ツアー

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 高校生

外交官シュミュレーションでは、実際に体験することで人とのつながりが大切なことを肌で感じることができました。そして、外交官の業務内容やイメージを具体的に知ることができました。実際に体験をしたり、外交官の話を聞いたりすることは、基地問題や世界情勢、日本について沢山のことを主体的に考えるきっかけとなりました。

◆ 高校生

上院議員ジル・トクダ 氏の話は、日米の安全保障についての話だけでなく、女性が社会で活躍していくためにどのようなことが必要なのか深く知ることが出来ました。日本では、国会議員の女性率や管理職に就く女性の割合が依然として低いので、女性でありながら上院議員として活躍するジル・トクダ 氏のお話はとてもためになりました。

国際連合本部ツアーでは、国連内の展示や実際に話し合いが行われている場所を英語の解説付きで見学しました。協力団体の方が日本語に訳して解説を付け加えてくれたので理解しやすかったです。国連という世界的に大きな機関の内側を実際に見ることができ、これからニュースなどで国連の話が出た時に身近なものとして捉えやすくなりました。

◆ 大学生

普段、日本で生活していてもお会いできないような日米の外交に携わる異なる立場の方々から直接お話を聞いた上、自分自身が疑問に感じていたことを直接聞くことができました。また、表敬した建物や、見学した施設は簡単には出入りできないところも多く、実際に見て、訪れるだけでも視野が広がり、外交に対する興味がさらに深まりました。

◆ 大学生

日米外交や安全保障に関わる政府関係者とお話できたので、それらについての見識を深められ、沖縄の基地問題についてもよく知ることが出来ると思います。またそれは、アメリカと沖縄、日本政府と沖縄にとっての合意を形成する為に役立つと思います。どのような点が譲れないのか、どのような理由で基地が集中するべきなのか、代替案を作るためにどのような点を考慮に入れるのかを我々が勉強し、それを沖縄県民に啓蒙する事は基地問題の解決に貢献すると思います。

◆ 大学生

個人的にロシア・ウクライナ戦争から懸念される台湾有事について聞きたかったので、ロシア情勢に詳しい参事官寺尾長氏に質問できたのはとてもためになった上、長年日本の外交に携わる方だからこそ分かるより深い考えを伺えてよかったです。また、どうして外交官というキャリアを選んだのかお聞きできたのも勉強になりました。

国際関係分野に強いジョージタウン大学を見学できたことは、個人的にとっても興味深く、同年代の学生がなぜその分野を学び、日本に興味がある事が聞けたので嬉しかったです。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 協力団体

以前から TOFU プログラムに関わってみたいと思っていました。在アメリカ合衆国日本国大使館、アメリカ合衆国防総省、アメリカ合衆国国務省、国際連合など、特徴ある訪問先が多く、従事できて光栄かつ有意義でした。

◆ 視察先

天候が悪かったのは残念ですが、カケハシの学生たちがジョージタウン大学への訪問を楽しんで頂けて光栄でした。また何かお手伝いできることがありましたら、お知らせください。（招へい事業で）幸運にも日本に訪問することができた学生たちが、派遣で訪問してきてくれた学生たちに訪日の感想を発表することができて良かったです。

6. 参加者の対外発信（抜粋）



2024 年 3 月 20 日（Instagram）

12 時間の長いフライトの後、今、コロンビア特別区（ワシントン D.C.）にいます。夕方、在アメリカ合衆国日本国大使館を訪問しました。多くのことを学んだのでここに全てを書ききれません。最も重要なことは世界平和です。



2024 年 3 月 22 日（Instagram）

私たちは、ペンタゴン（アメリカ国防総省の本庁舎）、Columbia Heights、日本国大使館を訪問しました。米軍基地を受け入れている沖縄に対してアメリカが感謝していることや彼らが日米同盟関係を重要視していることを学びました。Columbia Heights の生徒とは、予想より話すことはできませんでした。私の新たな目標は英語を話せるようになって私自身の力で友達を作ることです。



2024 年 3 月 22 日 (Instagram)

この写真は、アメリカ合衆国議会議事堂で、博物館のように美しいです。

今日は、いかに女性の地位を高めるかについて学び、いくつか質問することもできました。

また、東アジアは様々な脅威に晒されていると知りました。沖縄の人々は、沖縄の周辺について知るべきだと思います。

白いご飯が恋しくなっています。



2024 年 3 月 25 日 (Instagram)

ここにあった巨大な建物は、テロ組織によって破壊されました。この事件により、3,000 人近くの方が亡くなり、25,000 人以上がケガを負いました。

7. 帰国後のアクション・プラン（抜粋）

全4グループのうち2グループ発表

「アメリカで沖縄の未来を考える」（TOFU）プログラム ①



【アクション・プラン】

● 目的

今回の TOFU プログラムに参加した私たちは、帰国後にそれぞれのコミュニティで、カケハシ派遣で得た新しい発見や意見を共有することを目指します。沖縄に基地が存在する理由を知った上で、物事の両面を見て知った上で、賛成や反対の意見や今後どのようにして基地と共存して生きていくかについて未来を担う私たちの世代と考えていきます。

● 内容

大学のプレゼンテーション時間を活用し、日米地位協定の観点から沖縄に米軍基地が存在する理由について、地理学的な根拠を含め、同年代の学生たちに知ってもらいます。

● 理由

今回の研修に参加したことで沖縄の地元紙2社や地元テレビ局からは放送されないような新しい情報を得たことから、私たちと同じ世代の学生たちにも情報を提供していきたいと考えているからです。

● 実施案

・学童でアルバイトをしているので、地域の子供たちと米軍基地を利用したワークショップを実施します。

・宜野湾市の報告会で宜野湾市内の小・中学校と基地内の学校の交流を提案していきます。

・大学のプレゼンテーションでは今まであまり米軍基地について触れていなかったもので、今後は、積極的に米軍基地について触れるプレゼンテーションをして、賛成と反対どちらの意見も発信できるようにします。

・在沖米国総領事館が開催している既存のイベントに参加し、友人へ共有します。

● 3か月プラン

A) 大学のプレゼンテーション・クラスで資料配布するなどして、今回の経験と新しい視点での考え方（特に地政学的な観点からの情報）を共有します。

B) TOFU プログラムの様子や学びを記載したページを QR コードを掲載した一枚のポストカードにして各クラスに配布します。

● 年間プラン

A) 今回の TOFU プログラムの経験を共有できる場所を増やしていきたいです。

- B) 在沖米国総領事館が開催している朝活に積極的に参加し、実際に基地で働く方々の意見や同世代の基地に関する見解を共有していきます。
- C) 自分と同世代の米軍人になぜ軍に入る事に決めたのか、実際の基地内での生活についてインタビューをします。

「アメリカで沖縄の未来を考える」(TOFU) プログラム ②



【アクション・プラン】

- プラン A
沖縄についてプレゼンテーションを行う授業で、沖縄の基地をテーマとして今回のプログラムで得た経験をクラスに共有します。
- プラン B
日本の中でも国際交流をしやすい沖縄で、もっと学生たちに交流する機会を与える目的として、小中学生に夏休みのホームステイの実施をします。
- プラン C
カケハシ・プロジェクトを知ってもらう目的で、沖縄について考えるきっかけを持ってもらえるように、中高校生に出張授業を行い、アクティビティとして、プログラムでも行った外交官シミュレーションを行い、どのように国同士が話し合うのかを体験してもらう計画です。
- プラン D
若者だけでなく幅広い世代に伝えていく方法として新聞での投稿やラジオ、又はポッドキャスト (Podcast) での放送を行います。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター (JICE)